

平成 24 年度 農業農村工学会 資源循環研究部会 企画セッション
「農業集落排水技術の国際展開及びバイオマス資源の利活用に関する研究」開催報告

(社)地域環境資源センターが事務局を務める(公社)農業農村工学会 資源循環研究部会は、平成 24 年 9 月 20 日(木)、北海道大学で開催された平成 24 年度農業農村工学会全国大会において、企画セッション「農業集落排水技術の国際展開及びバイオマス資源の利活用に関する研究」を設けました。

本企画セッションは、農村地域に存在する農業集落排水及びその汚泥、バイオマス資源を利活用した循環型社会の形成や地球温暖化対策の一層の推進、新たな産業の発展、農村の活性化が期待されていること、利活用技術を含む我が国の技術については、国際展開を図ることにより国際貢献及びビジネスの展開が期待ことから、集落排水汚泥及び処理水等、農村地域のバイオマス資源の利活用の研究及び国際展開の可能性について議論を行い、バイオマス利活用にかかる今後の展望を見いだすことを目的に、開催しました。

本年度は、約 30 名の参加者の下、資源循環部会会長である九州大学大学院 農学研究院の凌祥之教授から冒頭挨拶がなされ、その後の講演会では、社団法人地域環境資源センター 杉田秀雄 主席研究員から、「農業集落排水技術の国際展開に向けた調査研究」、ホクレン農業総合研究所 松田従三 顧問から、北海道における家畜ふん尿用バイオガスプラントの現状と課題」、酪農学園大学 干場信司教授から、「北海道におけるバイオマスエネルギーの活用について」と題し、講演を頂きました。

各講演後に質疑を行ったところ、時間を超過してまで熱心な議論がありました。特に、農業集落排水に掛かる国際的な技術移転に関する諸問題、バイオマスガスプラントの採算性、北海道におけるバイオマスエネルギーの効果的な利用に関する質疑がなされました。

来年度も、資源循環部会では、農業農村工学会全国大会にて、企画セッションを開催致しますので、皆様のご参加をお待ちしております。



凌 資源循環研究部会 部会長



地域環境資源センター 杉田 主席研究員



ホクレン農業総合研究所 松田 顧問



酪農学園大学 干場 教授